

さくら苑だより

発行日 令和6年3月31日



八郎潟町民謡同好会のみなさんと記念写真

指定介護老人福祉施設 井川町特別養護老人ホームさくら苑

〒018-1526 南秋田郡井川町寺沢字綱木沢145-5
TEL 018-855-6123 FAX 018-855-6124

井川町ケアハウスさくら苑 さくら苑老人短期入所生活介護事業所
さくら苑老人デイサービス事業所 さくら苑訪問介護事業所
さくら苑居宅介護支援事業所

敬老会

令和五年九月二十日



9月に、敬老会を行いました。年祝いのお祝いでは、4名の方が嬉しそうな表情をされ「ありがとうね」と話されておりました。

敬老会では、利用者様のカラオケ大会や、職員と一緒にマツケンサンバを踊り楽しまれておりました。



さくら苑祭

令和五年十一月二日



さくら苑祭のアトラクションでは、八郎潟町民謡同好会の皆さまに
来苑していただきました。懐かしい歌などを披露していただき、思い
思いに楽しまれておりました。利用者の皆さんとても感動され、「よ
かった～」などのお言葉をいただきました。





クリスマス会

令和五年十二月二十日



クリスマス会では、職員がサンタに扮してバンド演奏を披露しました。この日に向けて演奏・歌の練習に取り組みました。利用者の皆様も、手拍子をされるなどし、楽しまれている様子でした。その後、クリスマスケーキを食べながら、利用者様同士で談笑されるなど、和やかな雰囲気ですクリスマス会を終えることが出来ました。



新春のつどい

令和六年一月十二日



新春のつどいでは、職員が扮した獅子舞踊りを鑑賞されておりました。獅子舞に触れたり、笑顔で「おっかねな〜」と楽しまれておりました。また、くじ引きでは、大吉などを引かれ思い思いの反応をされ、ささやかですが、正月の雰囲気を感じていただけたと思います。





節分



2月3日に、さくら苑食堂にて節分を行いました。

布のボールを豆に見立て、鬼役の職員に向かって力一杯投げていました。皆さん楽しそうな表情で参加されており、さくら苑の鬼も圧倒され退散していきました。

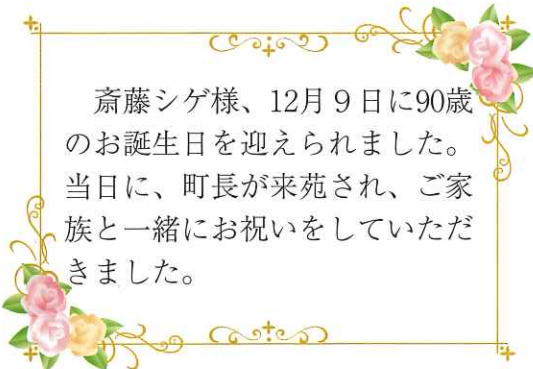


令和六年二月三日

齋藤シゲ様 卒寿祝い



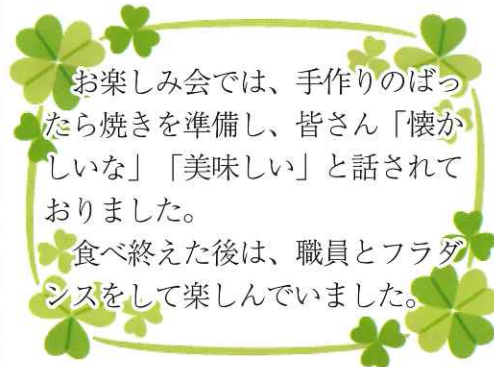
齋藤シゲ様、12月9日に90歳のお誕生日を迎えられました。当日に、町長が来苑され、ご家族と一緒に祝いをしていただきました。



お楽しみ会

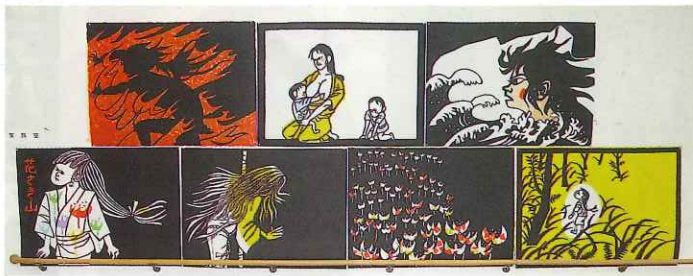
お楽しみ会では、手作りのばったら焼きを準備し、皆さん「懐かしいな」「美味しい」と話されておりました。

食べ終えた後は、職員とフラダンスをして楽しんでいました。



令和六年三月六日

紙芝居「花さき山」



井川町産業祭にも出展しました



(作業風景)



ひたすら ペタペタ ペタペタ

雪の少ない冬が終わり、草花が芽吹くピカピカの新年度が始まろうとしています。長生きの秘訣は声を出して笑うこと。皆様には大きな声で沢山話をして、いっぱい笑って過して欲しいと思っています。デイでは、おやつ後の空き時間に、入浴で使ったタオルたたみをお願ひしています。あっといいう間に終わらせ、「もったいないの？」という声も聞かれます。テキパキと仕事をこなす昔のお母さんたちはパワー全開で凄いです。これからも利用者の皆様と信頼関係を築きながら、満足のいく時間を過して頂けるよう職員一同努めてまいります。

デイサービス

(上演中)



いい話っこだな…

回転寿司？ではなく回転スイーツバイキング～



しあわせー



3個も食べて
いいのー



あらあら こんなにたくさん



こんなのはじめて



おいしいわー



たこやきもあるじゃない

パクッ



とても
おいしいですね

ケアハウス



新春の集いでは、ケアハウスの方々も参加されました。職員が扮した獅子舞踊りやおみくじを引いて、今年の運勢を確認しております。おやつバイキングでは、回転ずしのレーンにケーキや果物を乗せて、好きな食べ物を選び食べました。どれを食べようかと、真剣に悩んでいましたが、おやつはあっという間に無くなり大好評でした。

今まで、ありがとうございました。

庁務員兼運転手

鷲谷 浩二

令和六年一月三十一日付

能代 理沙

特養介護職員

令和五年十二月三十一日付

越後 学

特養兼デイ介護補助員

令和五年九月三十日付

退職者

特養医務より

もうすぐ季節は春ですが、コロナやインフルエンザ等の感染症の流行が続いています。職員一同、手洗いやうがい、マスク着用に加え、時間を決めて一斉換気を行い感染予防に努めております。



編集後記

新春のつどいで、くじ引きを行いました。その中で、「大凶」の意味を改めて調べたところ、「大凶は一番下のため、これ以上落ちることはなく、上り調子になる」という意味もあるとのことでした。私自身、大凶は悪い意味と捉えておりましたが、この意味を知って考え方が変わりました。新しい知識を学ぶことで固定概念や悪い意味にとらわれることなく、新しい発想や柔軟な考えができると感じました。これからも、様々なことを学び、柔軟な思いで利用者様と接して行きたいと思っております。

【編集委員】

- 藤田 円 安田 孝子
- 金野 成哉 伊藤 洋子
- 小林 恵子

